

2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月14日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL https://www.woodfriends.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 笹原 利明 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績（2019年6月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	28,399	16.6	409	△45.2	177	△65.8	75	△75.3
2019年5月期第3四半期	24,348	7.4	747	△8.5	520	△28.5	307	△30.5

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 117百万円 (△66.1%) 2019年5月期第3四半期 345百万円 (△26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	51.95	—
2019年5月期第3四半期	210.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	29,319	6,341	20.2	4,067.75
2019年5月期	27,923	6,362	21.5	4,111.05

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 5,931百万円 2019年5月期 5,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2020年5月期	—	0.00	—		
2020年5月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年4月14日）公表いたしました「2020年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	3.6	330	△70.2	60	△92.6	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年4月14日）公表いたしました「2020年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期3Q	1,480,000株	2019年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	21,778株	2019年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期3Q	1,458,222株	2019年5月期3Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心に商業地、住宅地とも地価上昇が続いておりましたが、横ばいないし若干の下落に転じております。リニア中央新幹線2027年開業に向けた名古屋駅周辺の開発に加え、近隣の伏見駅、栄駅周辺の開発も進んでおります。
- ・2019年(2019年1月～12月)の愛知県新設住宅着工戸数は、前年比で5年ぶりに減少しました。ただし、当社の主力事業である分譲戸建住宅市場では、低金利の住宅ローン等に支えられた住宅取得環境下、他地域の戸建分譲業者が愛知県に参入していることもあり、激しい競争が継続しております。また、将来にわたっては消費税増税の影響や新型コロナウイルス感染症の影響により、着工戸数に大きな変化が起きる可能性があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は不確実性が高く、建設資材の生産、納品の遅れによる建設工事の遅延等が業界全体で懸念されています。

② 当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・岐阜工場で生産する製品の物流拠点及び建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに取得した工場建屋の改修が完了しました。建築資材の更なる内製化を行い、商品の独自性を高めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・現時点で当社の事業進捗に対する影響は限定的ですが、新型コロナウイルス感染症の影響による建設資材の生産、納品の遅れに対し、当社は建設資材供給状況を一早く掌握するとともに、この状況を注視しながら柔軟に対処し計画的な生産を維持してまいります。
- ・「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」においてナイター照明設備を導入し、2019年11月に夜間プレイのトライアル営業を行いました。2020年3月から夜間プレイ営業を正式に開始します。
- ・住宅建築で培った木造建築技術を応用した「HOTEL WOOD 高山」が完成、グランドオープンし、運営を開始しました。

③ 当第3四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	28,399百万円	409百万円	177百万円	75百万円
前年同期比	16.6%増	45.2%減	65.8%減	75.3%減

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	24,848百万円	694百万円	積極的な販売施策により販売戸数が前年同期比103戸増の699戸となり売上高増加。在庫回転率を高めることを重視し、一部在庫の販売価格を見直したことにより、利益は減少。
前年同期比	14.3%増	11.8%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	1,714百万円	257百万円	ゴルフ場運営が好調に推移したことに加えて「HOTEL WOOD 高山」運営開始に伴い売上高が増加したが、同ホテルの運営開始に伴う初期投資費用が発生した影響により、利益は減少。
前年同期比	4.7%増	30.4%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	961百万円	△35百万円	収益型不動産の販売により、売上高が増加したが、建設コストが上昇したことに加え、第3四半期会計期間において仕掛中の工事に係る在庫金額の一部について帳簿価額の切り下げを行ったため損失となった。
前年同期比	32.9%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	930百万円	25百万円	宅地販売が増加し、売上高及び利益が増加。
前年同期比	172.9%増	15.6%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加及び有形固定資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して1,395百万円増加し、29,319百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して1,416百万円増加し、22,977百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して21百万円減少し、6,341百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2020年4月14日)公表いたしました「2020年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,920,684	4,777,484
完成工事未収入金	234,150	29,392
売掛金	246,769	236,041
販売用不動産	8,319,908	8,340,278
仕掛販売用不動産	7,938,793	7,945,379
商品及び製品	385,390	272,693
未成工事支出金	1,962,903	2,172,656
仕掛品	134,959	172,477
原材料	245,118	93,937
その他	506,524	625,743
流動資産合計	23,895,203	24,666,083
固定資産		
有形固定資産	3,424,232	3,928,595
無形固定資産	90,450	113,739
投資その他の資産	513,894	611,083
固定資産合計	4,028,576	4,653,418
資産合計	27,923,780	29,319,502
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,083,837	1,784,581
買掛金	448,788	326,919
1年内償還予定の社債	244,000	230,000
短期借入金	10,664,223	13,111,136
1年内返済予定の長期借入金	2,472,298	1,893,926
未払法人税等	69,768	55,224
賞与引当金	132,728	61,921
役員賞与引当金	13,242	—
完成工事補償引当金	129,717	125,277
その他	720,800	888,022
流動負債合計	16,979,406	18,477,010
固定負債		
社債	468,000	440,000
長期借入金	3,233,658	2,800,844
退職給付に係る負債	2,551	3,001
役員退職慰労引当金	154,348	161,818
資産除去債務	13,226	30,536
その他	709,720	1,064,695
固定負債合計	4,581,504	4,500,897
負債合計	21,560,911	22,977,908

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,472,823	5,410,041
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,995,143	5,932,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△315	△673
その他の包括利益累計額合計	△315	△673
非支配株主持分	368,040	409,906
純資産合計	6,362,868	6,341,593
負債純資産合計	27,923,780	29,319,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	24,348,487	28,399,940
売上原価	21,212,094	25,280,997
売上総利益	3,136,393	3,118,943
販売費及び一般管理費	2,389,154	2,709,256
営業利益	747,239	409,687
営業外収益		
受取利息	26	1,474
受取手数料	14,274	14,039
補助金収入	15,349	6,657
その他	27,636	22,152
営業外収益合計	57,286	44,324
営業外費用		
支払利息	213,732	247,091
資金調達費用	28,338	14,812
その他	42,240	14,279
営業外費用合計	284,311	276,183
経常利益	520,214	177,827
特別利益		
事業譲渡益	5,083	—
特別利益合計	5,083	—
特別損失		
固定資産除却損	2,325	536
特別損失合計	2,325	536
税金等調整前四半期純利益	522,972	177,291
法人税等	176,317	59,676
四半期純利益	346,655	117,614
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,405	41,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,249	75,748

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	346,655	117,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,016	△358
その他の包括利益合計	△1,016	△358
四半期包括利益	345,638	117,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,232	75,390
非支配株主に係る四半期包括利益	39,405	41,866

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	21,743,224	1,636,898	691,261	277,103	24,348,487	—	24,348,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,232	32,316	63,964	97,512	△97,512	—
計	21,743,224	1,638,130	723,577	341,067	24,446,000	△97,512	24,348,487
セグメント利益	788,048	370,437	24,937	22,441	1,205,866	△458,626	747,239

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△458,626千円には、セグメント間取引消去7,737千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△466,364千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	24,848,401	1,713,379	913,243	924,916	28,399,940	—	28,399,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,280	48,674	5,944	55,899	△55,899	—
計	24,848,401	1,714,659	961,917	930,861	28,455,840	△55,899	28,399,940
セグメント利益又は損失 (△)	694,926	257,868	△35,172	25,950	943,572	△533,885	409,687

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△533,885千円には、セグメント間取引消去19,750千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,635千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「住宅事業」「AM事業」「都市事業」「その他の事業」から「住宅事業」「余暇事業」「都市事業」「その他の事業」に変更しております。この変更は、「HOTEL WOOD 高山」運営開始により、経営管理上、事業業績区分の見直しを行ったことに伴い「AM事業」を「余暇事業」に名称を変更し、「その他の事業」に含まれていたホテル運営事業を「余暇事業」へ変更したものです。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。